

# 宮城県 才月卒中協会会報

第 89 号

財 团 法 人  
宮 城 県 対 脳 卒 中 協 会  
仙 台 市 太 白 区 長 町 4-20-1  
広 南 病 院 内 (郵便番号 982-0012)  
電 話 番 号 (022) 247-9749  
平 成 22 年 1 月 15 日 発 行



## リハビリ施設訪問

仙台リハビリテーション病院は、昨年四月、黒川郡富谷町に開院したばかり。リハビリーションに特化した新しい病院である。

最近の脳卒中治療成績向上に伴い、リハビリを必要とする患者数はさらに増加している。また、関

連病院である仙台東脳神経外科病院は、急性期病院として設立二十

年になり、後続のリハビリ病院をかねてから必要としていた。そこで

仙台市に隣接し、環境が良い黒川郡富谷町成田地区にリハビリを専門とする病院を開設することになった。

敷地面積九九〇〇平方㍍の広い土地に床面積五五〇〇平方㍍、八十二床四階の建物である。

良質なリハビリを行なうには施設、設備の充実はもちろ

りんであるが、より大切なのはマントパワーやスタッフの充実である。そこで病院の方針、特徴としてリ

## 仙台リハビリテーション病院

### ベッド 2 床に療法士 1 人

人間の尊厳の回復に向けて新しい病院ですので、明るく、職員も活気があり、新鮮な気持ちで毎日のリハビリ療法を行なっております。病院の理念である人間の尊厳の回復に向けて、地域での一貫したりハビリを目指しております。(山崎 医院長)

ハビリに特化し、十分な療法士を配置した。ベッド数八十二に対し四十人以上の療法士を置き、中身の濃い土、日曜も休みなく切れ目がないリハビリ体制を取っている。病床すべてが回復期リハビリテーション病棟のため、脳卒中だけではなく運動器疾患の患者に対しても回復期から維持期へ一貫したリハビリが行えることを大きな目標としている。

現在、脳血管疾患等(I)および運動器疾患(II)のリハビリ基準を取得している。また、機能回復状況や患者が抱える居宅生活における日常生活の問題点に対して、さ

まざまな形で効果的に対応できるよう外来、訪問、通所それぞれ、リハビリを行える環境を整えている。さらに、入院中に得られた機能を最大限に發揮しながら、安心して自宅で生活を送ることができるよう居宅介護支援事業所も設置している。これらはお互いの連携が密になって初めて一貫したサービスの提供ができるため、同じ職種間、または他の職種間のいずれもが情報を共有、意識するよう努めている。

開院してほぼ一年半が経過し、現在、脳卒中のリハビリが大部分を占めているが、多くの急性期病院からの紹介があり、入院患者も増えつつある。今後さらに地域のリハビリ医療の役に立ちたいとの考えでいる。

△ ◇

仙台リハビリテーション病院

は黒川郡富谷町成田一丁目三一、電話 022-351-8118。仙台東脳神経外科病院は仙台市宮城野区岩切一丁目一二一、電話 022-255-7117。

## 脳梗塞の新しい治療と予防

東北大学大学院医学系研究科  
神経病態制御学分野准教授

清水 宏明

脳は体の中でも特に血流を必要とする臓器です。血流は心臓から動脈で脳に運ばれます。動脈が何かの理由で閉塞すると(詰まる、とよく言います)、その動脈の行く先の脳組織には十分な血液が到達できなくなり、脳組織は早ければ十分数分で障害を受けてしまいます。こうして脳組織が壊死したものを脳梗塞と呼びます。

### 長時間の血流低下で発症

動脈の流れが悪くなつてからどのくらいで脳梗塞になるかは、血流がどのくらい低下するかによります。通常は閉塞した動脈の領域に回り込んでくる別の血流があるため、一時間以内に血流が再開通すると脳梗塞はしばしば小さくすみます。しかし、三~四時間以上経過してしまうと、そのあと血流が戻つても、すでに大きな脳梗塞ができてしまつてゐることがほ

とんどです。

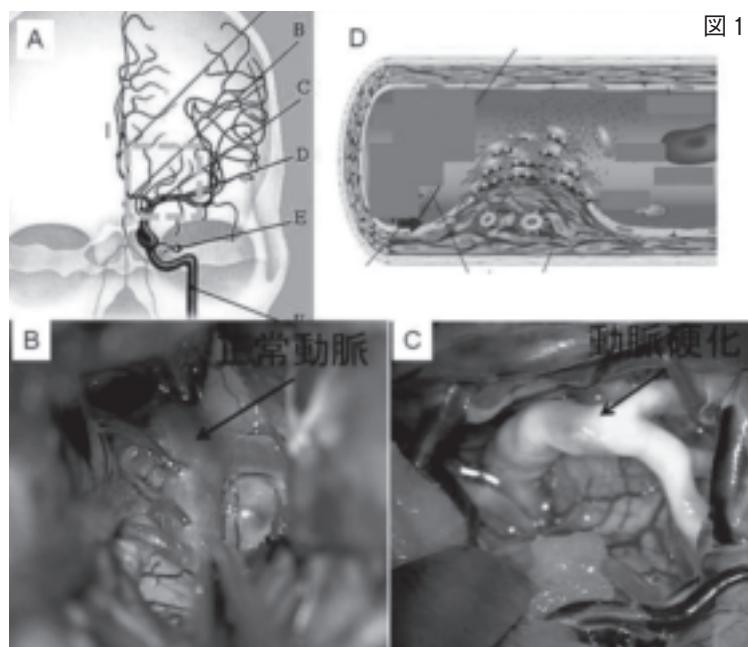
脳は場所によつて働きがほぼ決まっています。部位Aは右の手を動かす脳、部位Bは言葉を話す脳といつた具合です。脳梗塞ができると、その場所に応じた症状が出ます。部位Aなら右手の麻痺、部位Bなら言語障害といった具合です。困ったことに、多くの場合、脳梗塞で生じた症状はよくなりません。多少よくなることもありますが、元には戻らない場合がほとんどです。

### 予防そして至急の治療

以上から、脳梗塞対策の最も重要なポイントは、第一に予防、脳梗塞にならないことです。第二に、もしなつてしまつたら大至急専門的治療を受けることです。

予防するためには大切なことは、脳そのものの心配をすることではなく、高血圧、脂質異常症、不整脈、糖尿病、喫煙等への対処です。

梗塞、ということになります。具体的には、一般市民健診やかかりつけの内科的管理をしっかりと進めることが大切です。



A : 左大脳の動脈の模式図（点線四角はほぼB、Cで見ている部分を示す）  
B : 正常脳動脈（未破裂脳動脈瘤の術中所見）壁はきれいなピンクないし赤色  
C : 動脈硬化を来たした動脈（バイパス手術の術中所見）壁は黄色く固くなる  
D : 動脈硬化の模式図。動脈硬化を来たした動脈の長軸に沿った断面図。山のような盛り上がりが動脈硬化であり、コレステロール等が沈着している

図2

- 次の症状のうち一つでも急に生じれば脳卒中の可能性は7割以上（シンシナティスケール）
- 一側上肢の麻痺
- 一側顔面の麻痺
  - 笑った顔の左右非対称
- 言語障害
  - ラリルレロがうまくいえない
  - 言いたいことが言えない
  - 相手の言うことが理解できない



脳卒中を疑う3つの症状  
第二のポイントである、早期受診のために最も重要なことは、脳梗塞（を含めた脳卒中）について知ることです。最低限、「片側の顔面麻痺（笑い顔をつくると左右の動きが違う）」「片側の手の麻痺」「言語障害」の三つのうちの一つでもあれば、脳卒中である確率は七割以上です（図2）。

間違いを恐れず、脳卒中と判断して救急車を呼ぶべきであることを行っておいてください。一方、慢性的な頭重感、両手のしびれ、両足の脱力感などは、一般には脳卒中を考えたり、救急車を呼ぶべき症状ではありません。自分自身を守ると同時に、厳しい救急医療への一助という意味でも脳卒中を知つてもらうことは大変有意義だと思います。

#### 血圧管理から始まる予防

発症から一二・五時間程度で専門科を受診できると、tPAという血栓溶解剤による治療が可能な場合があります。この薬は欧米では二十年近く前から使用され、日本では長く導入が望まれたあと二〇〇五年秋によくやく使用可能となりました。脳梗塞の治療を大きく変えた薬剤であり、多くの統計で脳梗塞患者の最終的な障害をある程度改善することが分かつて

「言語障害」の三つのうちの一つでもあれば、脳卒中である確率は七割以上です（図2）。

動きが違う」「片側の手の麻痺」「言語障害」の三つのうちの一つでもあれば、脳卒中である確率は七割以上です（図2）。  
でもあれば、脳卒中と判断して救急車を呼ぶべきであることを行っておいてください。一方、慢性的な頭重感、両手のしびれ、両足の脱力感などは、一般には脳卒中を考えたり、救急車を呼ぶべき症状ではありません。自分自身を守ると同時に、厳しい救急医療への一助という意味でも脳卒中を知つてもらうことは大変有意義だと思います。

脳梗塞の病態、予防、治療を知り、残存する血流を助けたりするための薬剤などがあり、一人一人の病状を考えて治療します。

図3

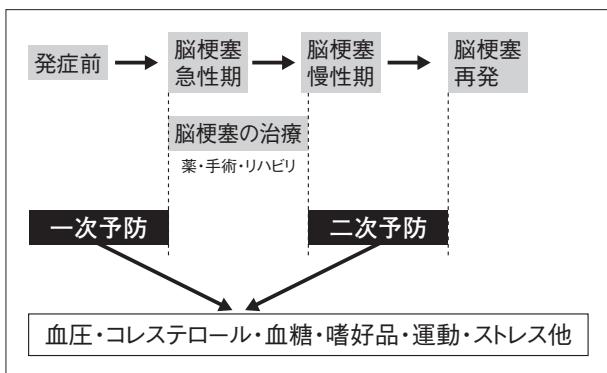


図4

#### 脳卒中予防十か条（日本脳卒中協会）

- 1 手始めに 高血圧から 治しましょう
- 2 糖尿病 放っておいたら 悔い残る
- 3 不整脈 見つかり次第 すぐ受診
- 4 予防には タバコを止める 意志を持て
- 5 アルコール 控えめは薬 過ぎれば毒
- 6 高すぎる コレステロールも 見逃すな
- 7 お食事の 塩分・脂肪 控えめに
- 8 体力に 合った運動 続けよう
- 9 万病の 引き金になる 太りすぎ
- 10 脳卒中 起きたらすぐに 病院へ

いますが、決して皆がよくなるような夢の薬ではありません。脳出血誘発の危険もあり、使用方法に厳密な決まりがあります。それ以外の急性期脳梗塞の治療には、血管内治療で閉塞動脈を再開通したり、残存する血流を助けたりするための薬剤などがあり、一人一人の病状を考えて治療します。  
脳梗塞の予防は、実は脳とは一見関係なさそうな血圧から始まります。このことを十分理解していただくだけで、予防効果は格段に上がり、他のこともついてきます。本稿がそのお役に立つことを祈ります。

脳卒中まだ全国平均より高い傾向

宮城県の平成19年人口動態統計

宮城県はこのほど、平成十九年の人口動態統計を発表しました。

統計によれば、宮城県での死因別の順位は、一位が「悪性新生物（がん）、二位は「心疾患」、三位が「脳血管疾患」（脳卒中）で、平成十九年の脳血管疾患の死亡率

は一・八・五ボンと前年より三・二  
ボント上回りました。この三大疾病の  
全死亡に占める割合は、男女合わ  
せて五九・〇%となっています。

全国の死因別の順位と比較すると同じですが、人口十万人当たりの死亡率で見ると、がん、心疾患

は全国平均より低いのに、対し、脳卒中に関しては、前年度を上回り、依然として高い傾向を示しています。

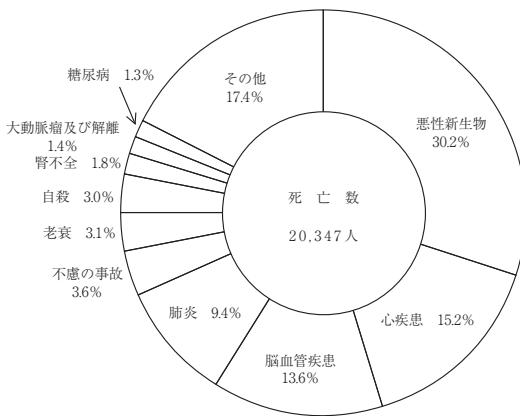
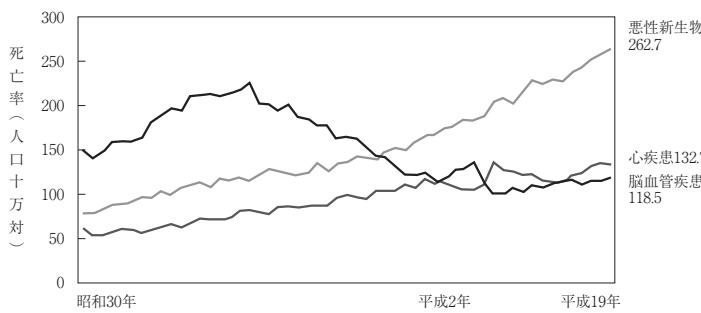


図2 主要死因別死亡率の推移(宮城県)



宮城県の平成十九年の総死亡者数は二万三千四十七人（前年一萬九千七百九十六人）で、五百五十一人増加しました。このうち脳卒中による死亡者数は二千七百六十八人（前年二千七百二人）で、六十六人増加しました。全死因に占める割合は、一三・六%（前

性百九十七人となっています。男性は女性に比べて脳内出血の比率が高く、女性は脳梗塞、くも膜下出血とともに比率が高くなっています。

また、がんの死亡率は全国の二六六・九ボンドに対し、宮城県では二六二・七ボンド、心疾患の死亡は全国一三九・二ボンドに対し、宮城県は一三三・七ボンドとなつて、ともに全国平均より低くなっています。

年一三・六%）、死亡率は（人口十万対）一一八・五ボイ（前年一二五・三ボイ）で、全国平均では死亡率一〇〇・八ボイ、全死因に占める割合が一一・五%です。宮城県の死亡率は全国平均より一七・七ボイ（人口一三・六%）が分かります。

宮城県の脳卒中男性死亡者数は千三百五十九人で、死亡率は一九・七（ボン）全死因に占める割合が一二・三%でした。これに対し、女性の死者数は千四百九人で死亡率一・一七・三（ボン）、割合で一五・一%になっています。

## 来月5日に薬物療法研究会

五回目となる脳卒中の薬物療法研究会が二月五日午後六時四十五分から、仙台市青葉区の勝山館で開かれます。宮城県対脳卒中協会を含む三団体が共催します。

大崎市民病院脳神経外科科長の吉田昌弘先生が「抗血小板療法、抗凝固療法下で発生したくも膜下出血の治療」、仙台医療センター脳神経外科医長の江面正幸先生が「脳梗塞急性期症例に対する経動脈的血栓溶解術」これまでとこれから」と題してそれぞれ発表し、秋田県立脳血管研究センター神経内科部長の長田乾先生が「積極的降圧療法と脳卒中再発予防」と題して特別講演します。

### すこやか脳を守る講演会開く

わが国の死亡原因第三位の脳卒中を正しく理解してもらおうと毎年開かれている「すこやか脳を守る講演会」が事業所および市町村との共催で開かれました。

十二月七日午後一時三十分から

丸森町保健センターで開催、講演会ではみやぎ県南中核病院救急部長兼脳神経外科科長の荒井啓晶先

生が「ブレインアタックの対抗策」と題して講演しました。

また、十月六日午後四時から仙台市宮城野区の株式会社で開催、講演会では広南病院診療部長の大沼歩先生が「脳卒中に関する正しい知識」と題して講演しました。

### 脳卒中市民公開講座に

市民ら160人が参加

二〇〇九年・脳卒中市民公開講座「脳梗塞その時どうする?」が十一月十五日、仙台市若林区の仙台市医師会館で宮城県対脳卒中協



会の共催で開かれました。

東北大学大学院医学系研究科神

経外科学分野教授の富永悌二先生の挨拶に続き、女優の真屋順子さんが二〇〇〇年に脳出血四年後の二〇〇四年には脳梗塞を発症、半身不随となり、その後リハビリをして舞台復帰されるまで道のりを夫で俳優の高津住男さんとともに「脳梗塞体験記」と題して講演しました〔写真上〕。

真屋さんは「ストレスをため込んだことが発症につながった。症状が無くても五十歳を過ぎたら病



院で検査を受けた方がいい」と語り、夫の高津さんは「妻が変調を訴えた時受け流したが、素人判断だつた。様子がおかしいと気づいたら一分一秒でも早く病院に行くことが大切だ」と訴えました。

続いて、東北大学大学院医学系研究科神経病態制御学分野准教授

の清水宏明先生が「脳梗塞の新しい予防と治療」と題して講演しました。清水先生は「脳梗塞は血管が詰まるとき発症するため、内科的管理をするなど予防が大切。発症すると素早い治療が必要になるので片側の顔面麻痺、片側の手の麻痺、言語障害といった典型的な症状を知つてほしい」と述べました。

東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野教授の出江紳一先生は「脳梗塞のリハビリテーション」と題して講演し、現在取り組んでいる脳を直接刺激して麻痺を治療する技術をスライドで説明しました。

最後に、脳卒中やりハビリテーションに関する疑問、質問に答える出演者全員によるディスカッション〔写真下〕が行われました。

会員名簿

(順不同·敬稱略)

宮城県対脳卒中協会の平成二十一年十一月三十日現在の会員は法人五六、協賛二、個人八八六人となりました。会員の方々には、ご協力に感謝いたしました。

◇法人会員 一般法人関係 (株)河北新報社、東北放送(株)、宮城県商工会議所連合会、仙都魚類(株)、不二商事(株)、遠山青葉印刷(株)、江陽グランドホテル、(株)大洋、(株)飛田組、(株)ユアテック、(株)すがわら葬儀社、コセキ(株)、(株)ヘルスマート、(株)佐藤工務店、(株)エスパイラー、丸木医科器械(株)、エーサイ(株)、田辺三菱製薬(株)、(株)バイタルネット、大塚製薬(株)、アベンティスファーマ(株)、(株)アスカム、大日本住友製薬(株)、杏林製薬(株)、アステラス製薬(株)、キッセイ薬品工業(株)、旭化成ファーマ(株)、バイエル薬品(株)、日本ベーリングガーネンゲルハイム(株)、第一三共(株)、小野薬品工業(株)、味の素ファルマ(株)、GEヘルスケアジャパン(株)、(株)シバタインテック、富士フィルムR I ファーマ(株)

【医療法人関係】(財)広南会広南病院、(医)永仁会永仁会病院、(医)友仁会松島病院、栗原市立栗駒病院、公立刈田総合病院、(医)淨仁会大泉記念病院、(財)宮城厚生協会泉病院、(医)華桜会古川星陵病院、仙石病院

院、(因)敬人会大友病院、石巻赤十字病院、  
仙台徳州会病院、赤石病院、大崎市病院  
事業、(因)将道会南東北病院、氣仙沼市立  
病院、(因)社団仁明会齋藤病院、(因)社団康  
陽会中嶋病院、みやぎ県南中核病院、東  
北厚生年金病院、(因)仁泉会川崎こころ病  
院

◇個人会員【仙台市】安斎政、会田秀雄、熱海和作、秋元ヒロジ、阿部要治、阿部欽一、秋葉健一、相沢慶子、阿部寛、葦名盛輝、荒井幸男、跡部忠男、板橋進、澤孝子、赤井澤アイ子、赤井澤巳之吉、安住タカ、安藤裕、阿部郁夫、浅野国雄、五十嵐栄治、板橋洋子、石田茂、泉山昌洋、板橋順子、井崎英男、井崎のり子、井筒昭子、猪岡伸一、板橋かね子、伊藤謙治、石澤清暉、薄井宗一、植野靜夫、内田直樹、遠藤英一、遠藤たか、大内信郎、大泉文男、大方俊樹、及川徳行、大槻俊夫、小野喜一、小野寺悌子、大場光昭、大森としこ、岡崎吉勝、小田嶋喜一、小田倉弘典、小倉健治、小倉光男、小島義治、及川萬、小貴信、奥田禮子、加藤俊和、河村基、川名春夫、菅野良平、加藤よし子、鎌田源一郎、菅間進、笠原富夫、貝山仁、加藤康子、菅野光子、菅野かつ子、桂田啓生、川村長祐、加藤しづか、加藤

孝、金子定吉、河東田義郎、川口洋子、春日園江、北村龍男、木田茂、木田照子、木田哲也、菊地きよ、菊地利典、木須理利、木村和雄、敏正、菊地利典、木須理利、木村和雄、熊谷一男、熊谷恒治、黒澤朋子、熊谷榮雄、熊谷サチ子、釦持英子、小塚宣人、小池仁吉、小松彌一、郡山宗英、小松敬次、後藤文利、小林卯太郎、小林信男、小林泰子、齋藤忠雄、斎藤公男、斎藤一彦、斎藤樹志子、斎藤よし子、斎重光、佐々木博行、佐藤裕、佐藤正一、佐藤章、佐藤襲吉、佐藤義輝、佐藤輝子、佐藤泰一、佐藤克朗、佐藤潔子、佐藤暁祐、佐藤恭子、佐藤恵郎、佐藤一榮、佐藤ゆか、佐藤康男、佐藤昭紀、佐藤徳昭、佐藤定男、佐藤達之、澤田栄子、宍戸令子、清水圭、渋谷一誠、庄子勝雄、庄子みよ子、庄子けさを、庄子良一、渋谷善雄、庄司まゆみ、莊司明美、庄司尚志、庄子ふさよ、庄子健次郎、柴崎篤、庄子雄二、庄司なか子、庄子惣藏、下山茂行、庄司征一、庄子重治、白石潔、新海準二、鈴木宗一、杉田宏美、杉本矩雄、鈴木清龍、鈴木紘一、鈴木源二郎、鈴木直清、鈴木旭、菅原正一、菅原文子、菅原次男、菅井洋子、鈴木繁雄、鈴木幸男、関場勝広、丹野幸男、武田富記、大門和雄、大門夕子、高橋千之、丹野邦夫、高橋弥三郎、田中みさお、武田孝子、武田富男、高橋克、田中修一、千葉清助、千葉守、津田闇久友、関本紀、相馬林一、高柳義伸、丹野幸男、武田富記、大門和雄、大門夕子、高橋千之、丹野邦夫、高橋弥三郎、田中みさお、武田孝子、武田富男、高橋克、田中修一、千葉清助、千葉守、津田闇久友、関本紀、相馬林一、高柳義伸、

政克、楳田栄二郎、時田博藏、永野令子、奈良坂拓、中川司、中川タイ子、中川孝子、南場秀子、中村志朗、南城公夫、中嶋俊之、長嶺義秀、長瀬章次郎、新関きよ、新田千代美、新倉栄、新倉八重子、新倉市郎、新倉良子、西澤義彦、西川通、根本力男、根本富喜子、羽田光雄、早坂達、蜂屋嘉子、早坂文子、長谷俊男、菱沼キヨ、日野泰彦、深田一弥、福島たか子、舟田彰、古内重義、古内房恵、福田陽一、堀江ふみ、細川京一、星三郎、松浦善四郎、松浦圭一、増澤良保、松田喜美子、松井正夫、道又勇一、嶺岸良夫、三浦まさ子、光永輝彦、三浦恵一、三浦秀博、三澤壮義、村上富美子、村主常次、武者盛宏、森洋子、山田ナヨ、八幡昌介、山口喜市、八木橋今子、山口せつ子、八雄、渡辺三穂、若生幸衛、渡辺幸子、我妻忠、渡辺穎悟、渡辺真一

【中田支部】荒川レイ子、伊賀正、壹  
三郎、堺辰一、堺辰三、堺辰四、  
堺辰五、堺辰六、堺辰七、堺辰八

田栄一、渡辺伸一郎、渡辺幸一、渡辺久子、渡辺忠男、壱岐圭子、伊藤長寿、壱岐幸三、壱岐軍治、伊藤孝志、伊藤寿美菊田明子、菊一信夫、佐藤太一、佐藤信雄、佐藤ヨシコ、庄司靜男、菅原道雄、平野久雄、本田美典、米山博、渡辺進、川村定雄、金成脩、加藤功、佐藤嘉郎、鈴木正吉、高橋次男、原田公一、渡辺秀博、渡辺惣市郎、浅沼孝信、石田つよし、小田島長治、柿沼一、加藤秀男、今野こあき、今野清、佐々木みよ、桜井忠、佐藤禮子、佐藤房子、菅井昭吉、鈴木武、高橋正一、高橋るい、高橋清、早坂茂、菱沼充子、守健治、守健一、山口千代子、山路敏夫、渡辺たか子、渡辺義行、渡辺克幸、渡辺洋子、渡辺勝、太田弘、太田秀雄、太田功、太田孝、小野寺仁、小野寺文男、太田勝康、小野寛明、及川賢二、海道榮一郎、木村達郎、熊谷昭市、熊谷吉夫、佐々木猛、佐藤初男、佐藤又七、佐藤誠輝、佐藤栄吾、桜庭文三、佐藤二郎、佐藤勝基、佐藤昭雄、佐藤栄一、宍戸和彦、庄子二郎、菅井愛子、鈴木とき子、鈴木健一、鈴木利一、鈴木正、鈴木喜美夫、丹野益子、豊田金十郎、平間菊二、守正志、守善平、守哲郎、守ツヤ子、守十郎、守信也、横田八十一、吉田利二、

渡辺正美、渡辺英伍、大内勝寿、大友辰男、小野寺二郎、加藤新一、菊地春利、菊地博、菅井源雄、神井市郎、菅井源太郎、菅井勝之、鈴木富男、菅井鉄夫、菅井直彦、菅原幸雄、高橋正良、高橋正弘、高橋譲、玉川金嘉、畠山三男、日塔勝好、樋口松五郎、文屋昶、三吉品優、目黒篤一、四倉秀寿、阿部甚助、阿部暢男、阿部たけ、阿部寿、阿部朗、阿部偉知、阿部忠、相沢博、阿部惣八、阿部知行、阿部清作、阿部千賀子、阿部敏郎、阿部れい子、阿部よしゑ、阿部喜一、阿部いし、阿部亮之右、阿部清、阿部正三、阿部重二、阿部道、阿部克世、伊藤武朗、今由松、伊東傳一、小田嶋邦子、大泉郁夫、籠倉恒男、桂島キヨ、小井土忠義、昆野コトジ、佐藤敏夫、佐藤貞美、佐藤忠雄、佐藤孝之、佐藤平治、佐藤文蔵、佐藤由雄、庄司守、菅田寅夫、鈴木敏郎、長沢兵右衛門、嶺岸澄子、山口市朗、渡辺正、相原正志、相原栄子、相原亨、阿部ゆきゑ、阿部美考、井筒泰司郎、石田清一、伊深芳家、伊藤てる、伊藤文雄、猪股見津雄、遠藤兵衛、忍幸、大友あき、大槻よね、近江昭夫、大友昭子、小畠重孝、木村春雄、今野崇夫、今野澄子、今

野三郎、後藤勝男、佐藤重信、佐藤一男、佐藤芳一、佐藤節雄、佐藤はる子、佐藤勝弥、新野昌男、新野英男、羽川芳広、箱崎修二、鬼地けい子、吉田宗六、鷺尾英雄、渡辺修、渡辺恵美子、阿部藤七、阿部久志、阿部ハナ子、阿部和男、入間川博、伊深正男、大山富夫、大友富次、大友六雄、岡本三男、小野寺繁、柿沼望治、海藤シマ子、加藤暢久、柿沼一男、菊地浩、木澤畠富雄、佐藤広和、佐久間善行、斎藤敏、庄子正男、菅井健次、高橋福治、高橋彰一、鶴田麗子、沼倉尚、山下勝司、渡辺武郎、渡辺公隆、渡辺省吉、渡辺徳男、渡辺純子、相原敬尋、板橋勇、板橋昭二、板橋久子、太田隆基、大宮義巳、川村逸郎、川村友二、北住章有、小泉一、佐竹とき子、佐伯春夫、佐々木嘉則、鈴木和夫、鈴木くみ子、須田久、清野辰子、高階正浩、田中幸子、田中幸子、沼田ふみえ、三塚み子、渡辺かつ子、渡辺キミ子、

馬重信  
【多賀城市】氏家紘一、江井保夫、大場三夫、黒沢久三、鈴木修治、西條力也、庄司恵美子、関口淳一、南城正勝、福島勢津子

【松島町】大山敦子、高野りょう子、中山大典

【七ヶ浜町】佐藤元  
【利府町】宮田幸比古、宮下孝  
【加美町】伊藤明一、伊藤怜子、伊藤策実、北村保、今野陽子

【大崎市古川】阿部俊助、青木チドリ、伊藤繁雄、伊藤房江、木村靖、佐藤謙一、佐藤幸治、佐々木榮董、穴戸正治、穴戸れい子、穴戸久美、鈴木克子、高橋郁朗、高橋みさを、三浦裕一、門田ケイ子

【大崎市鹿島台】小野寺敦  
【大崎市岩出山】佐藤進、三塚みさを、伊藤公昌

【大崎市田尻】大久保孝一

【涌谷町】最上演子、岡本禄太郎  
【美里町】熱海徳夫、芦田忠雄、穴戸五月子、小茄子川亨

【気仙沼市】畠山耕治、村田勝正  
【白石市】片倉庄助、佐藤とも子、村渡邊ヨシ子、上澤潔、星ひろみ  
上正良、亘理廣子

【角田市】安藤祐介、荒川三夫、阿部和郎、菅野基、佐々木哲郎、樋口多恵子、

【蔵王支部】大宮清志、鎌田謙治、片

倉泰二、齋藤敬、斎藤ケサ子、佐藤東二、  
白幡修、鈴木清、大道寺十四男、樋口俊

治、樋口恒男、牧野謙一、村山雅子、山  
家礼子、山家實、会田常人、浅沼一郎、  
会田直隆、東頼義、相原八男、会田好昭、  
芦立東曉、伊藤和男、伊藤晴信、伊藤征

雄、石井久義、石澤宏晃、石澤しげ子、  
牛木力夫、遠藤宏、遠藤忠吾、遠藤大、  
遠藤誠治、遠藤正三、遠藤治、近江一江、  
近江勇輝、近江朝夫、大沼二男、小熊清

男、小熊久男、奥山章三、小原一信、小  
原研一、大沼正志、大沼芳国、大沼昌昭、  
大沼清、大庭彰、尾閥定法、加藤幹夫、  
加藤晴朗、菅野勝司、菅野悦郎、菅野幸  
夫、菅野勝彦、河村吉宏、川村仁、熊坂  
稔、佐藤憲治、佐藤栄一、佐藤やす子、  
佐藤うめの、佐藤栄一、佐藤拓、佐藤二  
郎、佐藤幸夫、佐藤孝、佐藤功、佐藤よ  
し子、佐藤長成、佐藤ユウ子、佐藤銀藏、  
佐藤忠夫、佐藤詔雄、佐藤光雄、佐藤勝  
厚、佐藤栄昭、佐藤京治、佐藤幸枝、斎  
藤明、斎藤実、斎藤長大、斎藤政行、斎  
藤善一、斎藤広、斎藤君男、渋谷一男、  
神馬良一、鈴木設雄、高橋好夫、玉根良  
清、高野輝一、丹野昭、丹野七五郎、丹  
野正春、丹野昭一、玉山教夫、竹花純栄、  
田中陽一、武田三男、外門清、中山四郎、  
中山光弘、菲澤静子、長谷川光、羽田保  
之、馬場勝彦、馬場信夫、馬場昌喜、平  
間三男、平間美智子、平間てるの、平間

久一、平間武美、樋口喜久雄、福田や  
い子、福地敏明、古川優子、真壁昭夫、松

崎義明、松崎良一、三浦力男、水澤智孝、  
村上敬一、村上正男、村上秀三、村上明、  
村上利八、村上英人、村山一夫、村上輝

雄、村上和子、村上新一、村上善吉、最  
上哲男、鎧水洋、鎧水千恵子、鎧水隆、  
山家一男、我妻守、渡辺一男、我妻研一、  
我妻菊夫、我妻政美、我妻耕造、我妻稔、  
我妻幸美、我妻誠、我妻千枝子、

【蔵王町】熊谷チヨ子、佐藤昭一  
信子、平井達郎

【大河原町】大沼歩、日下昭吾、佐藤  
正人、三浦浩、最上はる子、米野きぬ子  
【川崎町】阿部武夫、大津熊吉、大宮  
円治、近江亮、小野郁夫、大宮正義、近  
江嘉七、大宮一、大宮高資、近江久仁寿、  
小山満、近江捨男、太田隆夫、菅野秀一、  
寛野秀雄、神崎タマ、熊谷和雄、熊谷越  
子、熊谷ヨシヘ、佐藤洋、斎藤半治、佐  
藤宏一、佐藤新一郎、佐藤保、菅原勝彦、  
丹野義幸、高山恵弘、西崎トモ子、沼田  
正藏、真壁勇、宮崎亀二、最上孝、最上  
勝夫

田信子、佐藤賢治、長谷部ヒデ子、安田  
莊十郎

【亘理町】安喰和子、石間重雄、遠藤  
次子、寺村博

【大和町】大崎妙恵

【大衡村】富永孝子

【大郷町】大類幸雄

【栗原市】斎藤郁子、佐々木英代、白  
鳥寿、鶴田勉

【登米市】秋山久吉、乾瑞法、小野寺  
寿美子、佐々木源太郎、佐々木忠藏、太  
布磯雄、太布忠子、千葉哲郎、津花英子、  
本田治夫

【青森県】上村佳子

【山形県】鈴木直美、三侯七郎、渡辺  
孝男

【福島県】松本登、荒アキ子

野芳治、佐藤信子、沢口直、佐々木昭保、  
佐藤安子、斎藤昭一、佐々木進、莊司隆

之、庄司昌治、須田弘、菅野吉光、高橋

勇夫、高城朝子、武田勝夫、田村剛一、  
高橋久吉、武田吉正、丹野陽一、戸田秀

徹、三塚米雄、森幸一、山田利夫、渡辺  
千代子、若生勝男、渡辺正吉、渡辺時雄

【岩沼市】青木恭規、氏家とし子、長  
田信子、佐藤賢治、長谷部ヒデ子、安田

## ◇脳ドックのご案内

当協会では会員の皆さま方に、  
『脳ドック』を勧めています。費  
用は四万円となっています。

脳ドックは、脳卒を中心とし  
て、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫、痴  
呆などの脳の病気を早期に発見、  
治療すること、さらにこれらの方の病  
気を予防することを目的としてお  
り、最先端機器で精密チェックを  
します。何らかの異常所見が認め  
られた場合には、再検査、追加検  
査も含め、保険診療により最も適  
切な治療を行います。

脳ドックの検査内容は、血圧測  
定、血液尿検査、脳M.R.I.検査、  
M.R.I.脳血管検査(M.R.A)で、全  
所要時間は約一時間です。検査結果  
について後日、脳ドック結果  
通知票を郵送します。

毎週木曜日午後一時からの予約  
制となっていますので、ご希望の方は、当協会事務局までお問い合わせください。

9749。  
☎・FAX 022(247)